

29 高等学校 芸術科 (書道) 問題用紙

(五枚のうち一)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、すべて解答用紙に記入すること。)

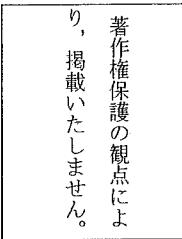
□ 次の問一～問四に答えなさい。

問一 次のア～カの読みをそれぞれ平仮名で書きなさい。

- ア 宙    イ 綴葉装    ウ 入木    エ 大孟鼎    オ 開通裏斜道刻石    カ 王鐸

問二 次のア～オについて答えなさい。

ア 次の写真は、執筆法における腕の構え方を示しています。この構え方を何といいますか。その名称を書きなさい。

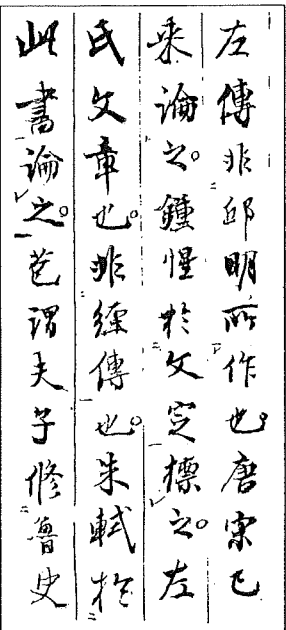


著作権保護の観点により、掲載いたしません。

イ 次の図版は、大谷探検隊によって楼蘭で発見された書跡です。この書跡は、王羲之と同時代の書法を伝える肉筆資料です。書跡名を書きなさい。



ウ 平安時代に、空海とともに「三筆」と呼ばれた人物が二人います。その人物名をそれぞれ書きなさい。  
 エ 「心正則筆正」という言葉を残したのは誰ですか。その人物名を書きなさい。  
 オ 次の図版は、「左繡序」の一部です。この書跡の筆者名を書きなさい。



問三 次のア～エは書道に関連のある語です。それぞれ簡潔に説明しなさい。

- ア 雀頭筆    イ 松煙墨    ウ 朱文    エ 封泥

問四 漢字の書体の一つに篆書があります。篆書の一つである小篆の書体の特徴を書きなさい。

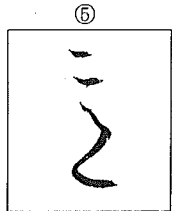
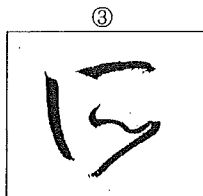
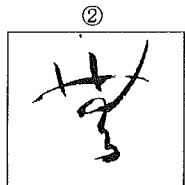
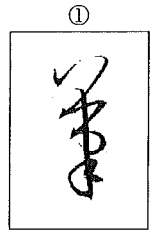
(五枚のうち二)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、すべて解答用紙に記入すること。)

□ 次の問一～問五に答えなさい。

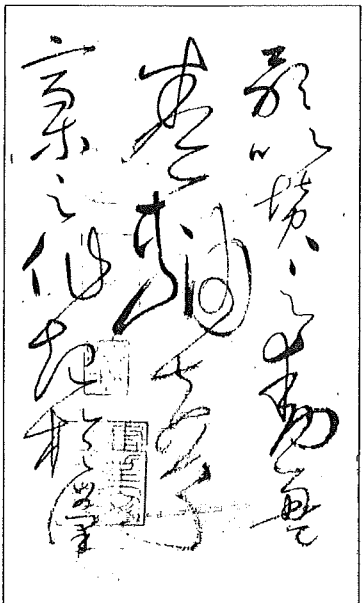
問一 次の図版①～⑤に書かれている字を、それぞれ常用漢字で書きなさい。



問二 次の図版①～③について、書跡名及び筆者名をそれぞれ書きなさい。



問三 次の図版は、懷素の「自叙帖」の一部です。「自叙帖」は狂草体と呼ばれていますが、この書跡の書風の特徴を簡潔に書きなさい。



(五枚のうち三)

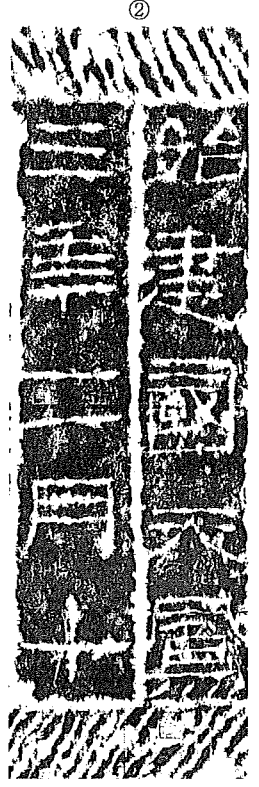
受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、すべて解答用紙に記入すること。)

問四 次の図版は、「集王聖教序」の一部です。起筆に着目して、その特徴を三つ書きなさい。



問五 次の図版①～③の書風の特徴をそれぞれ簡潔に書きなさい。



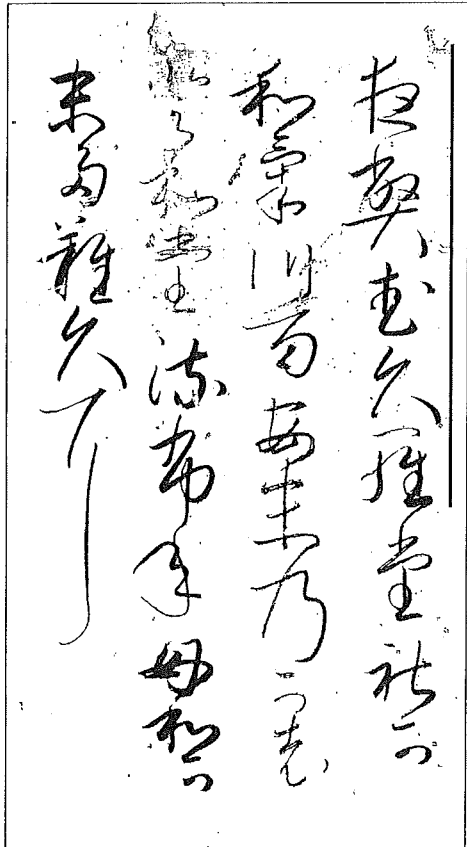
(五枚のうち四)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、すべて解答用紙に記入すること。)

三 次の問一～問三に答えなさい。

問一 次の図版について、後のア～ウに答えなさい。



ア 書跡名と、この書跡の筆者と伝えられている人物名をそれぞれ書きなさい。

イ 傍線部について、その字を、それぞれ平仮名で書きなさい。

ウ この書跡の書風の特徴を簡潔に書きなさい。

問二 書跡の名称には、様々な由来があります。次の①～⑤にあてはまるものを、後のア～カからそれぞれ一つ選び、その記号を書きなさい。

- ① 伝来の途上の地名に由来するもの      ② 所持していた人の名に由来するもの      ③ 書風に由来するもの
- ④ 書写年代に由来するもの      ⑤ 装丁の体裁に由来するもの

ア 針切    イ 戊辰切    ウ 伊予切    エ 卷子本古今和歌集    オ 元永本古今和歌集    カ 関戸本古今和歌集

問三 平成二十一年三月告示の高等学校学習指導要領 芸術 書道 I 2 内容 A 表現 (3) には、仮名の書に関する指導事項が示されています。仮名の書とはどのようなものですか。簡潔に書きなさい。

四 次の文章は、「芸舟双楫」の一節です。この文章の内容を簡潔に説明しなさい。

書之大局以氣為主。氣得則形体随之。

(五枚のうち五)

受験番号		氏名	
------	--	----	--

(答えは、すべて解答用紙に記入すること。)

〔五〕 平成二十一年三月告示の高等学校学習指導要領 芸術 書道Ⅲ 2 内容 B 鑑賞 イ には、「書論を講読し、書の理解と鑑賞の深化を図ること。」と示されています。どのようなことをねらいとして指導しますか。三つ書きなさい。

〔六〕 次の図版は、「牛楸造像記」の一部です。「書道Ⅰ」の授業において、この図版を用いて、鑑賞と表現の学習を指導することとします。後の問一・二に答えなさい。



問一 鑑賞活動において、他の楷書古典と比較する学習を指導することとします。どのような観点で、どのような内容に注目させる必要がありますか。次の図版①・②からいずれかの楷書古典を選び、その記号及び書跡名をそれぞれ書きなさい。また、観点及び内容について、それぞれ三つ書きなさい。



問二 表現活動において、「牛楸造像記」の書風を生かした「風」を表現させました。さらに発展的な学習として、他の楷書古典を踏まえ、「風」を表現させることとします。明確な表現意図に基づき、作品を書かせる場合、どのような楷書古典に、どのような表現意図がふさわしいと考えられますか。踏まえる楷書古典を一つあげ、その書跡名及び表現意図を、表現効果とあわせて書きなさい。なお、「牛楸造像記」と比較しながら書きなさい。ただし、踏まえる楷書古典は問一の図版①・②とは異なるものとします。



高等学校 芸術科 (書道) 解答用紙

(三枚のうち二)

受験番号
氏名

三						二						問題番号				
問三	問二		問一			問五			問四				問三	問二	問一	
	④	①	ウ	イ	ア	③	②	①					①	④	①	解答欄
					書跡名								筆者名	書跡名		
	⑤	②											②	⑤	②	
													筆者名	書跡名		
		③			人物名								③		③	
													筆者名	書跡名		

高等学校 芸術科 (書道) 解答用紙

(三枚のうち三)

受験番号	
氏名	

六						五			四	問題番号
問二		問一								
表現意図	書跡名	観点	観点	観点	記号				解答欄	
		内容	内容	内容	書跡名					